

NEWS RELEASE (2026 年 10 月 6 日) 取材依頼

【博物館・農林水産学研究科・連合農学研究科】日本初記録となるカミソリウオ科魚類を発見、「ギンガフウライウオ」と命名

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学の総合研究博物館・農林水産学研究科・連合農学研究科の研究チームは、カミソリウオ科カミソリウオ属の *Solenostomus halimeda* (ソレノストムス ハリメダ) を日本初記録として報告し、新標準和名ギンガフウライウオを提唱しました。この和名は、本種の体表に散在する微小な白色点が、夜空に輝く天の川銀河を想起させることに由来します。

本研究の成果は、日本魚類学会が発行する和文誌魚類学雑誌にて 2026 年 9 月 30 日に公開されました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

薩南諸島（種子島・宝島・沖永良部島）から得られた標本に基づき、カミソリウオ科カミソリウオ属の *Solenostomus halimeda* を日本初記録として報告し、新標準和名ギンガフウライウオを提唱しました。本種はモルディブからマーシャル諸島にかけてのインド・西太平洋の広域に分布し、種子島産の標本が本種の標本に基づく確かな分布北限記録となります。また、本研究により、水中写真に基づいて千葉県、静岡県、和歌山県、高知県、沖縄諸島、および宮古諸島からも本種の分布が確認されました。

ギンガフウライウオに同定された標本は鹿児島大学総合研究博物館に所蔵されています。

【掲載論文】薩南諸島から得られた日本初記録のカミソリウオ科魚類 *Solenostomus halimeda* ギンガフウライウオ（新称）

【著者名】前田知範・金井聖弥・本村浩之

【掲載誌】魚類学雑誌

【DOI】10.11369/jji.26-017

【関連ページ】

総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ



写真. 生鮮時の *Solenostomus halimeda* (ギンガフウライウオ) (標準体長 37.2 mm : 鹿児島県沖永良部島産)

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之 (モトムラ ヒロユキ)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL : 099-285-8111; 080-5657-0586

E-mail : motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp